



2022年7月28日

各 位

会社名 株式会社 銚子丸
代表者名 代表取締役社長 石田 満
(東証スタンダード・コード3075)
問合せ先 取締役管理本部長 仁科善生
電 話 043-350-1266

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、コーポレート・ガバナンスコードで実施が要請されている当社取締役会の実効性についての分析・評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

記

I. 評価の方法

(1) 対象者：取締役 9名 (うち監査等委員4名)

(2) 回答方法：【アンケート方式】

- ・全18項目について「良い・概ね良い・普通・やや悪い・悪い」の五段階で評価
- ・評価理由や意見等を必要に応じて自由欄に記載

(3) アンケートの評価項目は以下のとおりです。

- ① 取締役会の構成について
(経験及びスキル、多様性など)
- ② 取締役会の運営について
(日程及び運営方法、議案資料、審議及び進行など)
- ③ 取締役会の議案について
(中長期経営計画、サステナビリティ及びSDGsへの対応など)
- ④ 取締役会を支える体制について
(情報収集機会の確保、トレーニングなど)
- ⑤ ステークホルダーへの対応について
(株主との建設的な対話、情報提供など)

II. 第45期（2021年度）取締役会の実効性に関する評価の結果（概要）

アンケートの分析・評価結果の概要は、以下の通りとなりました。

① 取締役会の構成について

取締役会の構成について、専門性やスキル、多様性については、全体として実効性が確保されていると評価されました。一方で女性の活躍や多様性については、現在の構成に対して一定の評価はありますが、「女性役員比率を30%以上に引き上げる目標設定」「社外比率50%超の実現」など、今後の取り組みについての意見がありました。

② 取締役会の運営について

取締役会の運営について、全体として実効性が確保されていると評価されました。一方で、議案の資料に対しては、より余裕をもって準備できるように、説明資料の工夫と資料送付の早期化に継続して取り組んでもらいたいとの意見がありました。

③ 取締役会の議題について

既存事業を主体とした中長期経営計画やSDGs推進委員会を起点とする各種活動など取締役会の議題については、全体として実効性が確保されていると評価されました。一方で、中期経営計画には、新規事業戦略の具体化、SDGsに対する取り組みや女性活躍に向けた環境整備などを盛り込むことを求める意見がありました。

④ 取締役会を支える体制について

取締役会を支える体制について、全体として実効性が確保されていると評価されました。一方でより充実した取締役会としていくために、取締役会以外の懇談や意見交換の機会の増加、外部研修制度の充実、回付する重要会議議事録の拡大等を求める意見がありました。

⑤ ステークホルダーへの対応について

ステークホルダーへの対応については、全体として実効性が確保されていると評価されました。特に、年2回の機関投資家向け決算説明会実施と筆耕記事掲載、株主総会のWEB視聴導入、適時開示等の自動配信サービス導入等は高い評価となりました。

III. 今後の対応について

上記の取締役会実効性評価の結果のとおり、全体的に当社取締役会の実効性は概ね確保されていると評価されました。同時に検討すべき課題についても多くのご意見があり、今後これらを改善することで取締役会の実効性のさらなる向上とコーポレート・ガバナンスの強化に努めてまいります。

以上